

平成30年 あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

1. 新世言 「大切にしすぎるツミ」 丸山敏秋 倫理研究所理事長 65歳 (P10~13)

ある所に、**75歳を過ぎた大酒飲みがいました**。困って相談に来た息子に(丸山敏雄は)こう言った。お父さんの希望や願いは何ですか?お酒を飲むことです。「それだったら、お酒をあげたらどうです。たった一つの望みなんですから」そして息子は、酒瓶を父親の前に置き「今までお父さんにすまないことをしていました。今日は給料が出たのでお酒を買ってきました。存分に飲んでください」それを聞いた父親は、涙を流して喜んだ。その涙を見て「家の財産が続く限り、お酒を買って差し上げますね」と、息子が真心から言うと、それ以来、盃に2~3杯で酔うようになり、しまいには「息子が一所懸命に働いた金で買う酒を飲むのはもったいない」と、止めてしまった。『**美しき罪**』これがよいと思ってやっても、実は大間違いであるという罪です。本当に大切な人であれば、自分の思いは脇に置いて、しっかりと合わせる。そこに真心の交流が生まれます。

2. 実践の軌跡「介護で蘇った夫婦愛から、難病を乗り越える」中島静子さん72歳 東京都(P14~23)

夫は59歳になった頃、「認知症」という診断が下されました。脳内出血にもなり、自宅で介護することを決意し、2カ月が過ぎた時、卵巣癌が再発、10時間の手術が無事成功して退院。認知症が進んだ夫を自宅で介護生活。私が冗談半分で「静子さんが好きですか?」と尋ねたら夫は「前からずっと好きです」と返事をしてくれたのです。とっても嬉しく、今もその時の会話が蘇ってきます。癌での入院時「元気になって、人様のお役に立ちたい」と祈りました。手術後、薬も飲まず元気で12年経ちました。日々生かされていることに感謝し喜働実践。

3. 実践の軌跡「信じることで築いた絆が、夢を叶える力に」小出操さん64歳 埼玉県(P24~33)

母の介護経験を機に(人の声に耳を傾け、寄り添う介護をしたい)と思い、H18年52歳で起業。H24年、3か所目の施設開設を目指し、1400坪の土地と4億円の融資が受けられました。倫理指導により、建築会社を信頼できる所に変えて、予定通りH25年4月に開設でき順調です。最近では、一番身近な夫や娘夫婦への接し方も変わりました。倫理法人会に入会してからは、人材の教育に力を入れています。地域貢献を努力します。

4. 特集「ともに生きる①」ひとり一人の気持ちが人を繋ぎ、社会創りの大きな力になります(P34~49)

- ①佐野日大高校の取り組みが、今では7つの高校1582名の生徒が、小学生の登下校時の見回り活動を実践。
- ②ちくちく針仕事の会。ぼろ布に糸を通すと布が柔らかくなり強度が増す。売り上げで球根を被災地に送ります。
- ③沖縄での座談会 沖縄は地域や家族の繋がりが強い一方で、核家族化も進んでいる。生活法則の学び大切だ。

5. 明日へのエール「富士研修施設には、喜びや感動があります」鈴江章研究員55歳 (P50~53)

夏休みに年一回開催される「中学生・高校生セミナー」で中2の時学び、19歳の時に相談の手紙が届きました。「努力がすべてである。やればできる!」に衝撃を受け、高校で和太鼓部の部長で全国大会出場しました。そして今回、専門学校の入学式で、2千名の生徒の代表として、歓迎の言葉を述べることになったとのこと。その後届いた原稿が素晴らしい!(内容は新世をご覧ください)本人が実践体験しないと心には響かない。自信!

6. わくわく子育て親育ち「親が先生を信頼すると、子供は安心して登校」小川太郎研究員46歳(P58~61)

学校と家庭を結ぶ「連絡帳」、担任の先生が、その日学校であった出来事を記していました。それを読んで、心の面も学ばせてもらっていると安心信頼しました。先生を信じるのが子供のエネルギーになる。

子育てワンポイントアドバイス (幼児編) 「4歳の息子の夜泣きが解決」(P61)

息子はぐずり、夜もなかなか眠りません。「子育てセミナー」に参加、講師から子育ての法則を聞きました。そして「長男が私を困らせるのは、私が夫や家族を困らせているから」夫婦を良くするために泣く孝行息子だった。